



第3期 米国サンディエゴ「CONNECT」 アクセラレーションプログラム、キックオフ

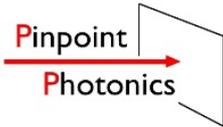
～The Springboard™ Program in Yokohama～

横浜市では2019年より米国サンディエゴの起業家支援組織「CONNECT」^{コネクト}と連携し、ライフサイエンス分野の中小・スタートアップ企業を育成・支援するプログラム”The Springboard™ Program in Yokohama”を実施しています。このたび、プログラム参加企業3社が決定しました。

今後、プログラム参加企業は、自身の持つ製品やサービスについて資金調達につながる訴求力の高いピッチを行えるように、サンディエゴの起業家・プロ経営者メンターによる実践的なメンタリングを通じてビジネススキルを磨き、プログラムの修了後には、米国のVCや関係企業に対し、Demo day（オンライン）による成果報告を行います。

この取組により、横浜市は、「イノベーション都市・横浜」の実現に向け、中小・スタートアップ企業への支援を推進します。

“The Springboard™ Program in Yokohama” 参加企業3社

企業名	事業内容
株式会社 Aventino (港北区) 	一人ではなかなか対処しづらい女性の薄毛・抜け毛に対し、医療機関での診療データに基づき、オンライン上で各女性にあった個別の対策提案、製品提供、経過のチェックを行うことで、女性の薄毛・抜け毛のセルフケアをサポートするサービス「Broccoli-Sprouts」を提供
ピンポイントフォトニクス株式会社 (保土ヶ谷区) 	モバイルカメラにより撮影した画像によりメラノーマ（皮膚がん）のリスク診断をクラウドで行うシステムを開発、提供。画像の明るさがばらついても画像の特徴を忠実に取得できる画像処理技術を基に、機械学習によるメラノーマのリスク分類を行い、医療従事者の負担軽減を目指す
株式会社 biomy (東京都 渋谷区) 	従来のコンパニオン診断における投薬基準は、検査結果が持つ膨大な情報を「特定のタンパク質の発現量」や「ゲノムの遺伝子変異」という形にまで落とすことにより決定されてきたが、AIを用いることで検査結果中の様々な情報を拾い上げ、抗腫瘍薬における予後を予測することで、投薬判断の支援を目指す

キックオフ概要

実施日時 : 令和3年7月1日(木) 午前8時～
場所 : YOXO BOX (横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内)
内容 : CONNECTによる当プログラムの説明、メンターと参加企業の顔合わせ等
対象 : プログラム参加企業3社

プログラムの特長・メリット

- ビジネスモデルが洗練されるため、自社の持つ製品やサービスについて訴求力が向上
- 海外向け資金調達ピッチのプレゼン内容をブラッシュアップ
- プログラムを通じた知名度向上による、投資家や医療機関等との関係構築

プログラムスケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
CONNECT		審査		☆	メンタリング	★	★
木原財団		伴走支援		ファシリテーション			
横浜市	公募期間	締切	決定通知				デモデイ

7月1日(木) ☆キックオフ
7月～9月 メンタリング(オンラインミーティング3回実施予定)
8月下旬・9月下旬 ★ピッチプラクティス
10月下旬 デモデイ(オンライン)

【重要】横浜市内または米国サンディエゴ市内における新型コロナウイルス感染症等の状況により、事業が予定どおりには実施されない場合があります。

CONNECTとは

米国サンディエゴのスタートアップコミュニティにおける2大支援機関である「CONNECT」(1985年設立)と「San Diego Venture Group」(1986年設立)が2019年4月に合併。各組織に由来するノウハウと実績、幅広いネットワークにより、優れた企業の創出に向けて、企業の成長・拡大、資金調達を支援するプログラムやイベントを実施し、サンディエゴ地域の起業家やスタートアップの育成を行っています。



お問合せ先

「プログラムに関すること」 経済局産業連携推進課担当課長 佐藤 慎一 Tel : 045-671-3591
「伴走支援に関すること」 木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広 Tel : 045-502-4810

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。